

Action (アクション)

～ できることを あるものを使って 今いるところで はじめよ

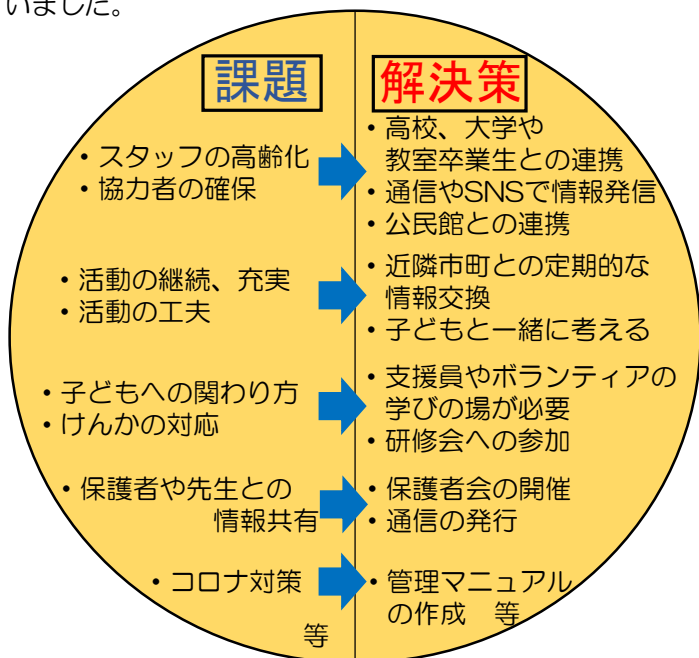
「第1回 放課後子ども教室・土曜日の教育活動研修会」を開催しました

9/13(日)、岡山県生涯学習センターで「放課後子ども教室」や「土曜日の教育活動」の関係者を対象とした研修会を行いました。普段の活動やコロナ禍での運営について、情報交換をしたり、抱える課題を共有したりしました。



直径1mの段ボール「でかまる子ちゃん」で意見交換

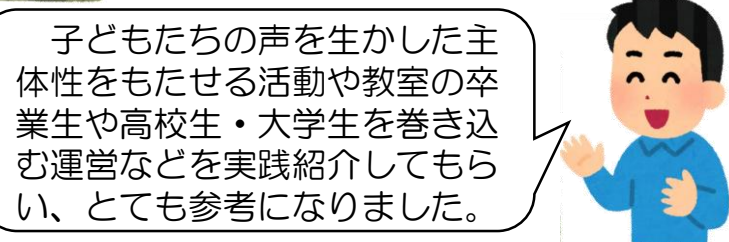
グループで活動や運営に関する課題や悩み等を出し合い、解決策や現状よりも良くしていくきっかけについて話し合いました。



参加者の声(ふり返りアンケートより)



みんな同じような悩みをもっていることがよく分かりました。コロナ禍でも、課題がたくさんあっても、できることがたくさんあることに気付きました。



子どもたちの声を生かした主体性をもたせる活動や教室の卒業生や高校生・大学生を巻き込む運営などを実践紹介してもらい、とても参考になりました。

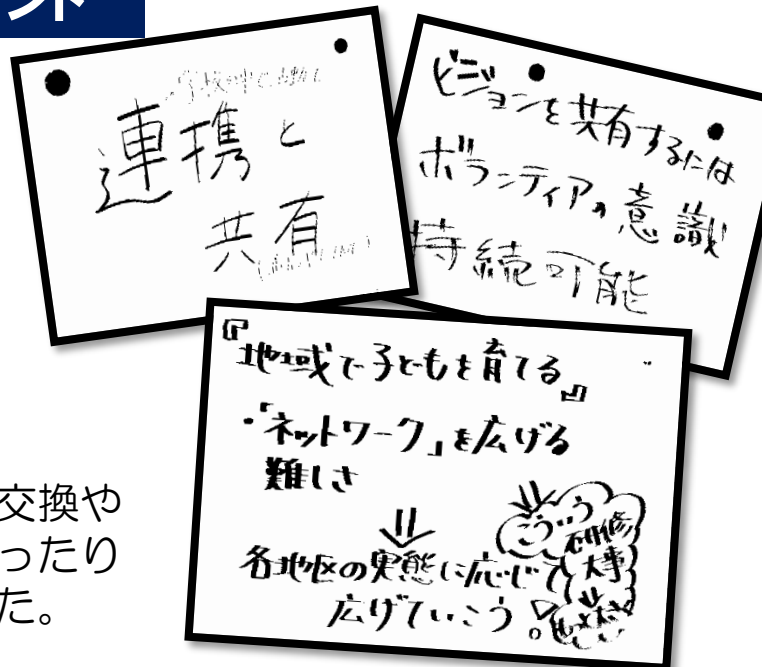


今回の研修会のように、情報交換や課題、ビジョンを共有する場がそれぞれの地域で必要だと思いました。「発信する」「伝えていく」ことで少しずつ周りの人の意識を変えていきたいと思ひます。

地域全体で子どもたちを支えるポイント

【参加者から出た意見】

- ・「ネットワーク」を広げましょう。
- ・「目標」や「ビジョン」を共有しましょう。
- ・関わる人の意識を高めましょう。
- ・持続可能な仕組みをつくりましょう。



そのために…

今後はそれぞれの地域で集まり、情報交換や課題解決に向けて話し合ったり、学び合ったりすることが重要であることを確認しました。

第2回 放課後子ども教室・土曜日の教育活動研修会のお知らせ

中山先生から

学ぼう！

「非認知能力」
ってなあに？



子どもたちに関わる
ときのポイントは？

12/6 (日)

9:45~12:30

岡山県
生涯学習センター
(岡山市北区伊島町3-1-1)

定員 **50**名

【講義】

「放課後に求められる子どもへのよりよい関わり方(仮)」

講師 **中山 芳一氏** (岡山大学 准教授)

【講師紹介】

岡山大学教育学部卒業後、1999年(平成11年)当時岡山県内に男性1人と言われた学童保育正規の指導員として従事。以降2008年まで9年間在職。学童保育の研究がこれからの学童保育の充実に不可欠と考え、一念発起して研究者への道を選ぶ。大学院で学び直し、乳幼児から学童保育、さらには小中高から大学、社会人に至るまで様々な教育方法学の研究に取り組む。

現在は、岡山大学全学教育・学生支援機構の准教授として学生たちのキャリア教育や課外支援に取り組む一方、学童保育の国の資格研修会の講師や、非認知能力について保育園や学校の先生また、中高生や一般の保護者等へ講演を行っている。

9:30	受付
9:45	開会
9:50	【講義】 「放課後に求められる子どもへのよりよい関わり方(仮)」 〈講師〉岡山大学 全学教育・教育支援機構 准教授 中山 芳一氏
11:20	【ワークショップ】 「これからの放課後子ども教室・土曜日の教育活動について(仮)」 〈進行〉岡山教育事務所生涯学習課員
12:20	閉会



【申込み】

岡山教育事務所
生涯学習課
(086-221-7776)
までご連絡ください。